

この症状、HPPかもしれません。

(低ホスファターゼ症)



HPP: Hypophosphatasia

いずれか1つでもあれば、小児科の先生に紹介し、血液検査でALP(アルカリホスファターゼ)を確認してもらってください。

- 乳歯の早期脱落(1~4歳)
- 歩行異常(アヒル様歩行)



歯根ごと脱落します。
痛みはありません。

もし、下記の症状があればチェックしましょう

- 腕や大腿骨の弯曲
- X脚
- 筋力の低下、長期にわたって続く筋肉痛や関節痛
- 骨の痛みが長期にわたって続く
- 簡単なことで頻繁に骨折し、治療に時間がかかる
- けいれん
- 成長や発達の遅れ

(低身長、低体重、ハイハイや立ち上がり、歩き始めが遅い、補助なしに歩くことができるようにならない など)



他のお子さんと同じように遊んだり、行事に参加したり、体育の授業を受けられたりしていますか？

HPPとは？

骨格系の症状を中心に、全身にさまざまな症状を発症し、生命を脅かすことのある、進行性の遺伝性代謝性疾患です。
早期に発見し、進行を防ぐ治療を開始することが、生命予後、患者さんのQOL改善に重要です。



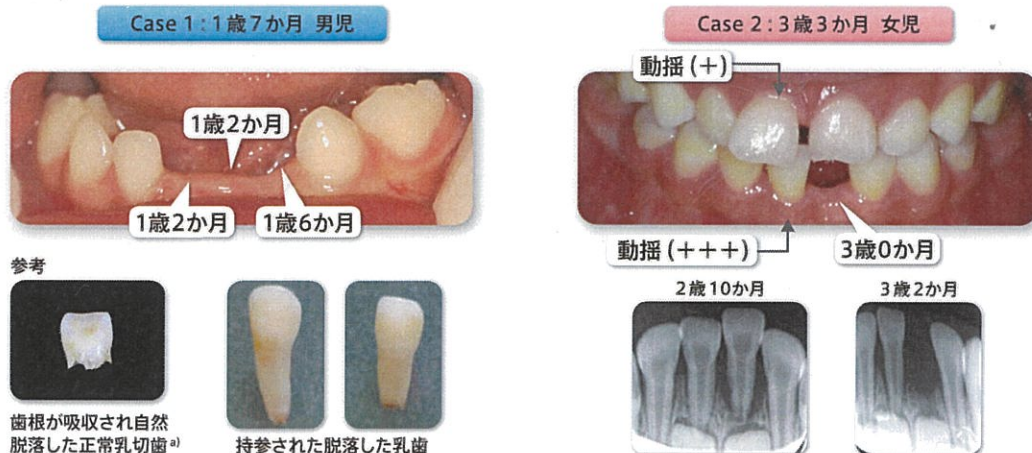
上記はHPPにみられる症状の一部です。発現する症状の種類や出かたは、ひとりひとり異なります。

詳しくは裏面をご覧ください

ALEXION®

HPP患者さんでは、1～4歳の時期に乳前歯の動揺があったり、 歯根吸収を伴わない乳前歯の脱落を認める場合があります。

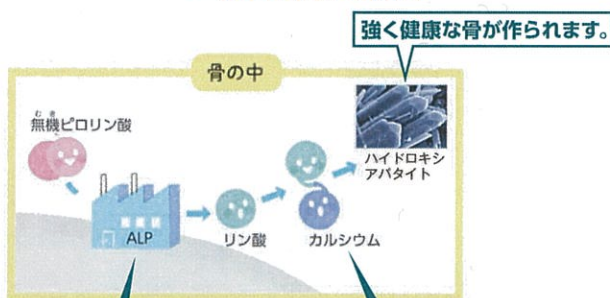
■ HPPの患者さんにみられる乳歯脱落の特徴



Citation: Okawa R, Kitaoka T, Saga K, Ozono K, Nakano K (2016) Report of Two Dental Patients Diagnosed with Hypophosphatemia. J Clin Case Rep 6:704. doi:10.4172/2165-7920.1000704
a) 提供: Whyte MP, Shriners Hospitals for Children, Research Center

HPPは、強く健康な骨を作るために必要な「アルカリホスファターゼ (ALP)」という 酵素の動きが低下したり、なくなったりすることで起こる病気です。

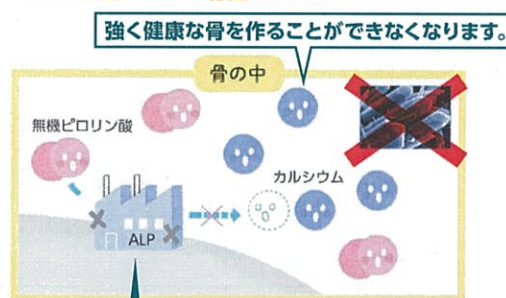
一般的なALPの動き



ALPという酵素が、無機ピロリン酸という物質を分解すると、リン酸が作られます。

分解されたリン酸はカルシウムと結合して、ハイドロキシアパタイトとなり、骨や歯に蓄積、「石灰化」をすすめます。

HPP患者さんの場合は・・・



酵素の動きが低下、またはなくなり、ハイドロキシアパタイトが作られなくなります。

HPPの診断

HPPは、**臨床症状**と一般的な血液検査による**ALP値**※1で診断します※2。

※1 ALP値は年齢別基準値を参照します。 ※2 ALP値の活性低下のほか、ALP基質の一つである尿中PEA値の上昇も見られます。

HPPの治療

HPPの治療には、HPPの原因であるALP活性の低下に対する骨を標的とした酵素補充療法と対症療法があります。

HPPは、ALP活性低下を補う“酵素補充療法”や対症療法の治療導入により、悪化を防ぐことができる疾患です。
HPPが疑われる患者さんがいらっしゃる場合、下記までご紹介ください。

アレクシオンファーマ合同会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-18-14 恵比寿ファーストスクエア

HPP-LEH(0)-1612
2016年12月作成